

災害時に臨床心理士と精神保健福祉士にできることは？

～国内外の支援事例をもとに考えてみましょう～

ここ数年、日本では大きな自然災害が相次いでいます。被災地には全国から多くの専門職や支援団体が支援に入ります。それぞれの職能団体では、その専門性を発揮して、災害時の支援活動を展開しているところです。その中で、私たちはどのような役割を担い、支援や連携を行えばよいのでしょうか。

今回、和歌山県臨床心理士会と和歌山県精神保健福祉士協会にて、合同の研修会を初めて企画しました。本研修では、災害時の医療ケア支援に深く携わる益田充先生をお招きし、災害支援の状況やトラウマケアにつながる支援のあり方についてご講演いただきます。

来たるべき災害に備え、共に学びませんか。みなさまの参加をお待ちしています。

日時：2019年1月13日（日） 13:15～16:30（受付13:00～）

場所：和歌山県民文化会館 5階大会議室
（住所：和歌山市小松原通1丁目1番地）



内容：講演・グループディスカッションを予定

講師：日本赤十字社和歌山医療センター医師 **益田 充 先生**

—講師紹介—

東大法学部、国際人権 NGO 等で紛争被害者支援。神戸大医学部在籍時にアジア・アフリカの医療機関にて実習後、国立病院機構熊本センター(外科、精神科)、福田病院(産科)に勤務。

ロサンゼルス退役軍人病院留学し PTSD の基礎を学ぶ。

現在、日赤和歌山医療センター外科/救急科/精神科/国際医療救援要員。

JATEC(外傷)・MCLS(災害)インストラクター。

日本 EMDR 学会人道支援プログラム委員。



【申込方法】2019年1月7日（月）までに、裏面の申込書にて、
それぞれの団体にお申込みください。

【申込先】 和歌山県臨床心理士会
和歌山県精神保健福祉士協会

cfgrz805@jtw.zaq.ne.jp

FAX：073-446-2655

F A X送信先：073-446-2655

和歌山県精神保健福祉士協会 事務局 宛

送信票不要

和歌山県臨床心理士会・和歌山県精神保健福祉士協会 合同研修会

「災害時に臨床心理士と精神保健福祉士にできることは？」

申 込 書

申込締切：2019年1月7日（月）

所 属	名 前	連 絡 先

《本研修会に関するお問い合わせ先》

和歌山県精神保健福祉士協会 事務局

住所：和歌山市和歌浦東3丁目2番38号 和歌浦病院内

TEL：090-1149-0861 FAX：073-446-2655